

市制60周年記念行事 [11月11日(日) / 会場：市原市市民会館 大ホール]

「地域住民主体のまちづくりシンポジウム」で青葉台39PJが取組事例発表!



▲左から司会：関谷氏、堀尾氏、39PJ：田中氏、ウエルシア：小平氏、小出市長
今回のシンポジウムは、元NHKアナウンサーの堀尾氏の基調講演、市内の先進的な取り組み事例として、青葉台町会協議会とウエルシア・コミュニケーションいちほらの取組み紹介、その後、総合司会の関谷千葉大大学院教授がモデレーターを務められ、小出市長を含めた出席者によるパネルディスカッションが行われました。会場の入場者は約300名。堀尾氏による基調講演では、日本は円安、GDPランクの下降、出生率1.27が続けば人口が2070年には30%減など全体が沈みかけている。自分たちで何かをやる動きが出てこないといけない。

同氏がキャスターだった番組「ご近所の底力」で学んだ地域づくりの「^{※注}あいうえお憲法」の実行ができるかが問われます。事例発表では、39PJ事務局長の田中さんから、先人たちの基礎作り、現在までの39PJ活動そして未来に向けた地域づくりの発表、「団地サミット」開催の提案もありまし



▲地域住民主体のまちづくりシンポジウム・リーフた。パネルディスカッションでは、出席者の目線で市原市の特色について、全国から人が集まる、都心に近い、伸びしろがあるなどコメントがあり、魅力特色を活かしたまちづくりに市としても住民との対話と連携した取り組みを重視していくことでまとめられました。(39PJ事務局)

※注：「あ」アイデア、「い」インタレスト、「う」ウォーク(現場確認)、「え」エキサイティング(燃えて活動できるか)、「お」オリジナリティー(地域ならではの自在活動)

上尾市原市地区自治会連合会との情報交換会が開催されました。

[11月16日(木) 12:45~14:45 自治会館集会所]



埼玉県にも市原があったのかと思えそうな原市地区との交流会を開催。先方10名、当方は古寺会長、39PJ事務局7名が出席しました。原市地区はさいたま市の隣りの上尾市にあって11町会連合会で、黒須自治会連合会

長他の町会長の皆さんと現在抱えている課題について話し合いました。当方からは今まで・現在・これからの青葉台の状況と今後の取組みを説明し、情報交換をしました。先方は世帯数・人口とも青葉台の4~5倍と規模は大きく流入者特に労働人口層が多く、昔から住んでいる人との交流が難しい局面もあります。高齢化問題や役員のなり手不足が共通の課題です。双方の活動の中から、役員の任期、選出方法や子ども育成、町会と民生部門との関わりなどについて熱心な議論を交わしました。尚、情報交換に先だって、ノアールに案内し活動経緯を説明したり、途中のOhanaいっぱい活動による街路樹花壇を観ていただきました。(39PJ事務局)



▲交流会でのひとコマ

日青葉台39プロジェクト
分野: 高齢になっても永く住み続けられる街づくり
課題: 福祉タウン構想

『介助・介護のイロハ説明会』開催。



青葉台に暮らす人々の半数は高齢者です。介助介護が必要になって慌てて対応を考えるのでは遅く、事前の知識を付けることで自分に合った適切なサービス

を受けることが出来ます。こうした事前の知識を学ぼうと『介助・介護のイロハ説明会』が、10～11月に3回に亘り青小体育館、姉中武道館を会場として開催されました。第1回は【介護保険制度や介助・介護サービスの利用方法】、第2回は【具体的な介護サービスの制度や内容】、第3回は【介護サービスや介護施設の内容や利用・入所条件、費用など説明、質問や相談】をテーマとして開催、延200名以上の方が参加されました。



ご夫婦で参加され、熱心にメモをとられる方もおり、「今は元気だけど、何れ必要になるから」や「介助・介護を受けるのにどうしたら良いか判らなかつたけど説明を聞いて良かった」などの声をお聞きしました。実際に介護サービスを提供される会社の方から詳しい説明を聞いたり、展示された介助・介護器具を試してみたりと、僅かな時間でしたが、少しでも事前の知識を深められたのではないのでしょうか。（まちづくり委員会）

日青葉台39プロジェクト
分野: 美しい街づくり 課題: ohanaいっぱい活動

Ohana 秋冬花苗の一齐植え付け会。

11月26日(日)朝、1～4丁目の青葉中央通り両側の花壇に秋冬花苗の植え付け会が行われました。当日は厚い雲が垂れこめ、気温も一桁に下がって時折霧雨が顔にあたるような天気にもかかわらずお子さんも含めたたくさんのボランティアが参加されました。植え付け会は、前回同様参加された皆さんの頑張りで1時間強で終了しました。ボランティアの方々により、8月には

パンジーの種蒔きを行い育苗を開始しましたが、異常高温の長期化により順調に育った苗が予測より少なくなり、異常気象を身近に感じた秋となりました。それでも、市支給苗と合わせて今回の植え付け会には不足がなく、無事に植え付けが終了しました。パンジーはこれから春まで次々に咲き、クリサンセマムやキンセンカなども春には咲き誇ることとなります。色の美しい早春に花壇の花が映えることでしょう。枯れたりする苗の補充を加味した後の余剰苗は、今回もノアール店頭で配布される予定です。（大竹）



▲クリサンセマムの植え付け



▲パンジーの植え付け



▲3丁目の参加者の皆さん



▲4丁目の参加者の皆さん

うす
5臼20kgの餅が完売!
昨年に引き続き、餅つき大会開催。

昨年久しぶりに開催し好評だった餅つき大会を、三丁目町会と三丁目睦会の共催で今年も10月29日(日)に開催しました。会場の中央公園では朝8時から、清藤三丁目睦会会長の総指揮の下、町会役員と睦会会員によりテント張り、臼などの洗浄、ガスコンロのセットなど諸準備を進められました。準備の途中から小雨が降り出し入出が心配されましたが、傘を差しながら多くの人が会場に足を運んでくれました。



今年は昨年より多い5臼20kgを用意するとともにきりたんぼ鍋もつくられました。餅つきは主にベテラン陣が、古寺三丁目町会長たちの大きな掛け声を糧にして次々と力強くつき、即女性陣により黄な粉餅、あんこ餅、おろし餅に調理され、待っていた方たちに供されました。餅は早々に完売となり、途中から雨もやみ最後にはお日様も出て、今年も成功裏に終了しました。（三丁目町会）

